

令和4年度授業改善推進プラン

清瀬市立芝山小学校 第4学年

	授業における課題や学力調査資料から見えた課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<p>基礎的な言語事項の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や目的に応じて、筋道を立てて話すこと</li> <li>・語彙力の育成</li> <li>・国語辞典を使う習慣をつけること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(3年生までの)主語と述語の関係を復習し、文の構造について理解を深めさせる。</li> <li>・授業の時に辞書を用意し、いつでも調べられる環境を作ることで語彙力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辞書を用いて調べることは以前よりできるようになった。今後は自主的に語彙を調べようとしていけるよう働きかけていく。</li> <li>・主語と述語を意識して話すことの意識がまだまだ低い児童が多いため、主語述語の指導を引き続き必要である。</li> <li>・話型が決まっていれば、筋道を立てて話すことができる児童が多かった。</li> </ul>
社会	<p>資料の活用能力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフや表などの資料から特徴や様子を読み取り、表現すること</li> <li>・情報収集能力の育成</li> <li>・必要な情報を収集すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフ、地図等から読み取ったことを自分の考えや感想を取り入れながらノートや新聞などに表現する力を習得させる。</li> <li>・タブレットを使用して、目的に合った資料を集めることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを使って資料を厳選して提示したことで、情報収集をして課題について調べる力が身に付いた。</li> <li>・資料からの情報を、正しく読み取る力に個人差がある。</li> <li>・読み取ったことに自分の考えや感想を添えて新聞などにまとめることができるようになってきている児童が多い。</li> </ul>
算数	<p>基礎学力の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四則計算を正確に行うこと</li> <li>・数学的な考え方の育成</li> <li>・問題の意味を理解し、図や式などを使って自分の考えを表すこと</li> <li>・算数への関心・意欲・態度の育成</li> <li>・学習内容に興味をもち、自力解決をしようとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数に分かれて、各グループに教員を配置し、児童のつまずきを把握し、個別指導ができる体制を作る。</li> <li>・自ら考えたり、お互いの考えを共有する時間を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベントクタイムの時間や日々の授業の中で個別指導を設け、少人数で指導したことにより、個別指導の充実を図ることができた。自信をつけることで、学習に対する意欲の向上も見られた。</li> <li>・友達から自分の考えを深める姿が多く見られた。</li> <li>・計算の工夫等、思考力が必要な四則計算の習熟に差が見られる。</li> </ul>
理科	<p>関係づけながら調べる能力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較したり、関連付けて考えたりしながら、変化の要因を見つける力の育成</li> <li>・分かりやすい表現の仕方の習得</li> <li>・観察・実験結果を図や表を使って表現すること</li> <li>・実験・観察用具の技能の習得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事物・現象の変化を、触ったり、見たりして観察することで自分の考えをもったり、実験方法を考えたりする活動を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察を重ねるにつれて、比較し関連付けて考えられる児童が増えた。</li> <li>・自分たちで実験方法や仮説を考え、それが検証可能であるかを話し合わせることで、実験や観察に対しての考えを深めることにつながった。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の特徴を捉えた表現を工夫し、思いや意図をもって表現するための技能の育成</li> <li>・曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのように演奏したいか思いや意図をもたせるような言葉かけをする。</li> <li>・歌唱や器楽の基礎基本を繰り返し指導したり、学習形態を工夫したりする。</li> <li>・曲の雰囲気や表情を感じ取り、全体がどのように形作られているかを捉えながら聴かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダーの基礎基本の指導が断片的にしかできず技能面での定着が課題である。</li> <li>・音楽会を通して、心を合わせて演奏する楽しさを味わわせることができた。</li> <li>・音楽の要素など明確にして聴かせることで、楽曲のよさやおもしろさに気付いて聴ける児童が増えた。</li> </ul>
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な道具の使い方や技法を身に付け、場面や用途に応じて扱う力の育成</li> <li>・題材の意図やねらいを理解して、自分なりの発想で表現を工夫しようとする力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・彫刻刀、カッターナイフ、のこぎり、絵の具などの道具を使用する題材を取り入れる。用途に応じて正しく使えるようにする。</li> <li>・題材の意図やねらいの理解を深める為に、思いを共有したり途中経過を見せ合い情報交換したりする時間をとる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道具を繰り返し指導する場面を多くとることで、扱いの習熟が定着している。苦手意識のある児童もいるので引き続き様々な場面で技能面の定着を図る。</li> <li>・思いを共有する場面で、互いの良さを認め合えるような発言や記述をする児童が増えた。多様な発想も出るので、引き続き各個人の持ち味を生かした表現を大切にしたい。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫しようとする態度の育成</li> <li>・基本的な技能を向上させようとする思考力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを使用して、自分の動きを客観的に見られるようにし、課題を改善することができるようにする。</li> <li>・スモールステップ型の学習カードや学習過程を活用して、自分の課題をもてるようにするとともに、映像などを活用しながら手本を示し、技能向上のポイントが分かるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットで、正しい動きを確認したり自分の動きを確認することで自分の課題に気付き、課題解決をしようとする意欲につながった。基本的な技能を向上させることにつながっていく。</li> <li>・友達の課題に気付けて、お互いにアドバイスをする姿が多く見られるようになった。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことだけでなく、相手の立場に立って物事を考えられる態度、思いやりの心の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童にとって身近な題材を設定し、共感や葛藤をさせて、意見の交流が活発に行われるような機会を多くする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な題材を設定したり、話し合いができるような展開を設定したりしたことで、友達の意見を聞いて、相手の立場に立って考えることができるようになってきている。</li> </ul>
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語に興味・関心をもつ児童が多いが、自信をもって進んで発音する力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と安心して学習できる雰囲気を作り、外国語を発音できるようにする。</li> <li>・自分の思いや考えを表現する時間を十分に設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しめるような雰囲気を作ったことで、外国語を発音しようとする取り組み態度が多く見られた。</li> <li>・外国語を使って自分の思いや考えを伝え合おうとする姿が多く見られるようになった。</li> </ul>
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本やインターネットから集めた資料を、自分の言葉や表現でまとめられる力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめ方の事例を提示し、自分の課題に合ったまとめ方を選択できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめ方の事例を提示したことで、自分だけでなく、友達と協力して課題に取り組むことができた。</li> <li>・学んだことを基にスライドを作り、相手に分かりやすく表現しようとする姿が見られた。</li> </ul>